

特集

部活動紹介

美術部 (中学校)

部員同士とても仲の良い部活です。ものを創り出す楽しさを感じながら、制作しています。

活動内容

週に2日、美術室で活動しています。制作するものは自由です。個人個人で創りたいもの、描きたいものを決めていきます。出来上がった作品は学園祭で発表しています。

また、学園祭ではテーマを年ごとに決めて、大作を部員全員で力を合わせて描いています。大きな絵を何枚も描くので夏休み前から制作を始めていますが、苦勞して描いた分完成したときには喜びもひとしおです。

リレーアートワークショップ

今年度は、岩手県大槌中学校プラスバンド部、市川市立第1中学校美術部と協力し、ワークショップに参加しました。このワークショップでは「つなぐ」をテーマに、大槌中学校の皆さんが廃材を利用してつくった木のロボットに、第1中学校と和洋中学校美術部で色を塗り、飾りつけ仕上げました。最後に大槌中学校の皆さんにメッセージを書いてワークショップは終了しました。作品はロンドンに送られ、展示されます。



美術部 (高校)

これまで多数の美術部員が美術・芸術大学に進学してきました。理想を形に変えること。本物志向で仲の良い部です。

活動内容

今年度からアニメーション部と合併し、活動の幅が広がりました。主に学園祭の出展作品を創っています。今年の試みとして、シルバーアクセサリーの制作をしました。女子校ということもあって、アクセサリーはみんな好きなようです。美術系の大学進学のために本格的にデッサンを学ぶ人もいます。一人でコツコツ創ったり描いたりすることが好きな人の集まりなので、各々のやりたいことができる環境作りに努めています。人に「あっ！」と言わせるような作品を創ることができるように、時間をかけて取り組むことを大切にしています。

美術部のこれから

やりたいことに落ち着いて取り組める環境があります。美術室と旧校舎でアットホームに活動しています。今のところ活動の幅は学校内に留まっていますが、自分次第で大きく活動していける可能性を持っています。油絵や彫刻はもちろん、日本画などにも取り組みます。次は映画や動画にも挑戦していきたいと思っています。



和洋国府台

第42号

http://www.wayokonodai.ed.jp/



体育大会 詩吟舞踊



メッセージコンテスト



中学学園祭



高校修学旅行 太宰府天満宮

平成27年度入試に向けて

Table with columns for '中学校' and '高等学校' detailing school information, exam dates, and application procedures.

季節のめぐり 校長 太田陽太郎
あたり前の四季のめぐりのありがたさを今年は何故か強く感じました。先日桜の木の先端がほのかに紅く色ついた姿を見、今年には紅葉なしに落葉か、と思っていましたので、「秋が来た」と心躍りじんわりと時のめぐりに感謝しました。
今年も自然は多くの人の命をのみこむ災いをもたらしています。広島土流災害、御嶽山の突然の水蒸気爆発による噴火災害などです。人知を超えた自然の荒々しさをまざまざと見せつけるこうした災害。自然が何かに人間に訴えているようにも思えます。元々日本はこうした災害の多い国です。浅間山の噴火の際の火砕流で消えた鎌原村、雲仙普賢岳の火砕流被害、林間や修学旅行で見えてきています。多くの人が災いに会う不条理、何で・に答えの見つからない事実の重み。
日本はこの自然の大きな営みの中、自然と共に歩む生活を文化として積み上げてきています。最近、和食和紙、様々な日本の文化が世界遺産に登録されてきています。限りある物の一つ一つ生かして用い切る日本文化の伝統が世界的に見直されて来ている、と思えます。日々の生活を深く味わい、日本文化を謙虚に学び、広く世界に伝えていきたいものです。

[主な内容]
●学園祭 2
●秋の行事 3
和洋メッセージコンテスト
体育大会
修学旅行
●部活動紹介 4
美術部

学園祭

中学

合唱コンクール



クラス目標に「声を出す」「笑顔」「声の美しさ」を掲げ、優勝を目指し練習に励みました。当日は、今までやってきた練習の成果を発揮し、楽しむことをパートリーダーに伝え、本番に臨みました。クラス全員できれいな歌声、笑顔で楽しく発表できました。「優勝は信じられない」とみんなで喜びました。

2年 玉井 紗帆 (千葉市立幕張西小出身)



第三学年 学年合唱

弁論大会

結果発表の際、優勝で自分の名前が呼ばれた時に、驚きと嬉しさが溢れてきました。原稿はたくさんの方の支えで出来た作品です。伝えたいことを皆さんに伝える事が出来た自信を忘れず、これからもたくさんの方にチャレンジしていこうと思います。



3年 平山 千聖 (千葉県幕張西小出身)

英語スピーチコンテスト



英文を暗唱するのはとても苦労しました。先生が作成したCDを何度も聞いて練習をしたので、きれいな発音を覚えることが出来ました。本番前は練習通りに上手く出来るか不安でしたが、スピーチ中は緊張がなくなり、良い発表が出来ました。優勝できるとは思っていなかったので、驚きと嬉しさでいっぱいです。

1年 藤田 真由 (葛飾区立よつぎ小出身)
小出 真生 (千葉市立幕張南小出身)

英語スピーチコンテストの原稿は、伝える表現に気をつけながら作りました。また、発音やイントネーションを何度も練習しました。発表前は緊張しましたが、マイクの前に立った時には自然と笑顔になれ、楽しくスピーチすることが出来ました。

3年 清水 芽 (千葉市立若松小出身)

高校



今年の学園祭は、「Le coffret à bijoux ~皆の夢が1つの宝宝箱に~」をテーマに、それぞれの目標に向かって一致団結し、準備を進めて参りました。当日は天気にも恵まれ、学校全体が生徒の笑顔に満ち溢れていました。来てくださった大勢の方々に和洋生らしい明るい姿をお見せでき、大変嬉しく思います。この行事を通して、力を合わせて取り組む大切さを改めて実感すると共に、和洋高校全体の絆がより強くなった気がします。

生徒会委員長 3年 和田 江実里 (和洋国府台女子中出身)



今年の学園祭では、初の試みである特設ステージが作られました。二日間にわたり、様々な団体がパフォーマンスをし、観客を楽しませてくれました。しかし、多くの改善点も見られたので、次年度に活かしていきたいと思ひます。また、全体を通して、1年生は初めての学園祭を楽しみ、2年生はよく盛り上げ、3年生は最後の学園祭という青春のよき思い出を作る良い二日間になったと思ひます。伝統ある学校だからこそ、自分たちで工夫をし、来てくれた方々に楽しんでもらう、そんな生徒達の思いが詰まった学園祭になって本当に良かったです。

学園祭実行委員長 3年 田口 美月 (和洋国府台女子中出身)

ファッションショー ~まぼろしのサーカス~



今回のファッションショーはサーカスのように期待と喜びの場面が次々とあられる様子をテーマにしました。

作品を一枚の布から作ることが初めてで、なかなか思うようにいかずつらい時もありましたが、完成した時は感動と達成感で胸がいっぱいになりました。ショーの本番前は緊張が高まって不安になりましたが、開始と同時に客席のあたたかい拍手に一安心、ショーが終わり幕が下りたあとは感激して涙が出てしまいました。

FT科3年 石田 莉愛 (和洋国府台女子中出身)
茂木 麻緒 (市川市立下貝塚中出身)

秋の行事

第2回 和洋メッセージコンテスト

応募数躍進! 7校37名から30校106名へ

これからの中学生に向けて、新しい英語表現の場を提供するべく始めたメッセージコンテスト。今までの「教科書の授業」でもなく「アクティビティ体験型授業」でも「英会話練習授業」でもない「自ら挑戦する英語実践の場」としてさらなる飛躍を目指します。また参加中学生だけでなく、本校生徒の英語による運営も板についてきました。英語に興味を持つ生徒たちの未来に向けて、これからも和洋独自のメッセージを発信し続けます。



協賛各社: オックスフォード大学出版局
ダイヤモンドビッグ社、桐原書店、JTB



日本舞踊同好会



1年生4人、2年生4人で参加しました。吟詠とのコラボレーションということで、千葉県吟詠詩舞道総連盟の方達の吟詠に合わせて舞いました。うまくいく

か初めは不安でしたが、舞い終わった後に、お客様から多くの拍手をいただき、嬉しく思いました。稽古をした成果が発揮できて本当に良かったです。

1年 木山 朋音 (船橋市立前原中出身)

修学旅行 [2年] ~北九州を巡る5泊6日の旅~

私が一番印象に残ったことは原爆資料館です。原爆の悲惨さを生々しく見せつけられました。被爆した浦上天堂の側壁、投下時刻を指したまま時を止めてひしゃげた時計。今まで想像の域でしかなかった原爆についての認識を新たにしてくれました。台風のため見学場所が少なくなったという残念なこともありましたが、友達との交流を通して新たな発見も多かった大切な修学旅行となりました。

2年 田中 玲衣 (船橋市立船橋中出身)



体育大会



今年は昨年までとは違い、高校生との合同の体育大会で、少し戸惑いもありました。しかし、高校生を見習って積極的に動くことを学ぶ良い機会にすることができたと思ひます。中学と高校が合同で体育大会を実施するのは32年ぶりということでしたが、学年関係なく和洋が一つとなり、大きなケガや事故もなく、体育大会を終えることができて良かったです。

中学体育委員会委員長 3年 森本 多香子 (船橋市立穴北小出身)

今年の中高合同体育大会ということで、高校生として中学生をリードする立場となり、戸惑いや責任を感じていました。その中で、体育大会を無事終えられたのも、先生方の支えと、運営委員全員の協力があったからこそだと思います。中学生と高校生が同じグラウンドで走り、共に感動を分かちあつたことで、「和洋の絆」が深まった、心に残る素晴らしい大会になりました。

高校体育委員会委員長 3年 米本 圭 (和洋国府台女子中出身)